



特集 普及セミナー、リテールテック

流通BMS協議会 会報（流通BMSニュース）No.12 をお届けいたします。

3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地域の一日も早い復興をお祈り致しております。

本会報では、普及セミナーの開催結果やリテールテックの状況を報告します。

2010年11月～2011年2月にかけて、普及セミナーを開催いたしました。事例紹介の対象企業は小売7社、卸3社で、参加者は219名でした。セミナーのプログラム内容、事例対象企業、講師、参加者内訳は次のとおりです。

【プログラム】

NO	時間	テーマ	講師
1	13:40～14:20 (40分)	流通BMS最新動向、普及状況等	協議会
2	14:20～15:20 (60分)	小売 導入事例	導入済企業又は支援会員
3	15:30～16:30 (60分)	卸・メーカー 導入事例	導入済企業又は支援会員
4	16:30～	質疑応答	協議会

【事例対象企業(上段)／講師(中・下段)】

	小売1	小売2	卸1	卸2
新潟	㈱魚栄商店 ㈱魚栄商店 本松 真一 氏 ㈱リテールサイエンス 今淵真太郎 氏		田代コンフェックス㈱ ㈱ビット・エイ 佐伯 篤史氏	㈱富岡食品
名古屋	ユニー㈱ ユニー㈱ 角田 吉隆 氏	㈱近商ストア ㈱近商ストア 安井 直洋 氏		
福岡	㈱魚栄商店 ㈱魚栄商店 本松 真一 氏	㈱義津屋 ㈱リテールサイエンス 今淵真太郎 氏	㈱モンテールバリュー ㈱モンテール 大山英治 氏	
大阪	白鶴酒造㈱ アンテナショップ御影 白鶴酒造㈱ 増田秀樹 氏	㈱マルシゲ ㈱サイバーリンクス 武内豊美 氏		
札幌	㈱成城石井 ㈱データ・アプリケーション 湊本 智昭 氏	㈱近商ストア	㈱モンテールバリュー ㈱モンテール 大山英治 氏	

【参加者一覧】

開催月日	場所	参加人数
11月17日(水)	新潟[新潟東急イン]	19名
1月27日(木)	名古屋[TKP名古屋ビジネスセンター]	110名
2月3日(木)	福岡[TKP博多シティセンター]	29名
2月10日(木)	大阪[ハートンホール毎日新聞ビル]	27名
2月17日(木)	札幌[TKP札幌カンファレンスセンター]	34名
		219名

2010年度 流通BMS維持管理の状況

I. 商品マスタデータ部会

2009年度から継続検討中の「商品マスタメッセージ」に関し、3月9日に商品マスタデータ部会が開催され、運用ガイドライン策定WGから運用ガイドライン案（アパレル分野対象）、および同ガイドラインに基づいて行われた小売・アパレル間の共同実証結果が報告され、承認された。

これにより、2008年度経済産業省流通システム標準化事業の残課題として、唯一残されていた商品マスタメッセージが公開可能となり、予定されていた全ての流通BMSメッセージが揃うことになる。

部会では、商品マスタメッセージ（スキーマ）の公開にあたり、当面、本メッセージを商品マスタメッセージVer.1.0として、基本形メッセージVer.1.3とは別に提供していくことも承認された。これは、今回、商品マスタメッセージの開発は完了したが、来年度以降、アパレル分野以外についても運用ガイドラインを検討予定のため、万一、商品マスタメッセージ（スキーマ）に変更が生じた場合でも、極力、他のメッセージへ影響を与えないようにとの配慮からである。

今後、商品マスタメッセージは、上記部会決定事項の反映と流通BMS関連ドキュメントの修正を行い、メッセージメンテナンス部会での最終承認後、HPへ公開される。またスキーマについては、提供版の稼働確認後、正式提供される予定である。

なお、来年度は、日用品・化粧品・一般大衆薬について、運用ガイドラインの検討が予定されている。（本会報のコーヒープレイクで、商品マスタメッセージの内容確認を）

II. Web-EDI 検討部会

本部会を開催するにあたり、経済産業省事業の最終年度（2008年度）に、スーパー業界のワーキングにて検討された方々にお集まりいただき、現在のガイドラインのポイント等を確認した。その結果と、昨年度の技術仕様検討部会等で挙げられた課題を基に、9月から3回会議を開催し、流通BMSにおけるWeb-EDIの位置づけや、適応要件、機能要件について整理した。本部会の最終成果は、流通BMSとして「Web-EDI」を提供する際の要件を、ガイドラインとしてまとめ公開することを目標としている。

1月に開催した部会で、今年度は、最低限の要件は全会一致で合意されているが、ガイドラインとしてまとめる粒度には達していないと判断した。しかし、現時点でも、Web-EDIの利用が拡大傾向にあることから、流通BMSの普及とWeb-EDI抑制のため、今年度末までに、現段階での合意事項と今後の検討課題を明確にし、広く発信を行う事が決議された。残検討課題及びガイドラインに記載すべき詳細仕様の有無については、各業界から、より多くの利用者の意見を集め、流通BMSが最も普及拡大可能となるポイントを見極めるために、もう少し調査・分析・検討を行い精査することとし、検討期間についても、来年度上半期末を目標に整理し、ガイドライン等で公開することを決議した。公開内容については、部会で頂いた意見を基に、事務局で整理し公開内容案についてメールベースで検討いただき、全委員の了解を得た。3月末までに流通BMS協議会のホームページで公開する予定である。

流通BMS ロゴマーク使用許諾製品検索システムを4月にリリース！

I. 流通BMS ロゴマーク使用許諾製品

流通BMS協議会では、流通BMSで定めた各種標準仕様への適合を自己宣言した製品・サービスに流通BMSのロゴマークの使用を許諾している。2010年2月より運用を開始、使用許諾された製品・サービスの数は2011年3月18日現在、62に上っている。

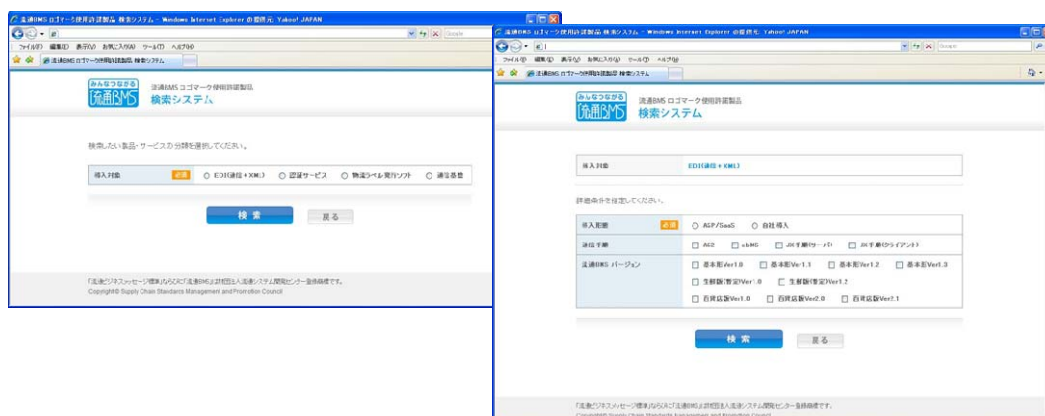
流通BMS協議会に寄せられる相談、問い合わせにも、「取引先から流通BMSを導入してほしいとの依頼がきたが、どうすればよいか?」「流通BMSを導入できるITベンダーを紹介してほしい」など、具体的な導入に関する内容が増えてきている。使用許諾した製品・サービスの増加に伴い、このたび各種条件で該当する製品やサービスを検索できる「流通BMS ロゴマーク使用許諾製品検索システム」を4月に流通BMS協議会のホームページ上にリリースする。

II. ロゴマーク使用許諾製品検索システム

「流通BMS ロゴマーク使用許諾製品検索システム」は、ロゴマークを使用許諾された製品・サービスの内、一般公開可能な52の製品・サービス（2011年3月18日現在）を対象に

- ・導入対象 : EDI（通信+XML）、認証サービス、物流ラベル発行ソフト、通信基盤
- ・導入形態 : 自社導入、ASP/SaaS
- ・使用する通信手順
- ・対応する流通BMSのバージョン

から、該当する製品やサービスを検索できる仕組みである。



「流通BMS ロゴマーク使用許諾製品検索システム」検索画面（イメージ）

検索システムから確認できる情報は、上記条件のほか、①製品・サービスの概要、②問い合わせ先である。②問い合わせ先では、支援会員の電話、メールの連絡先のほか、支援会員側のホームページで製品・サービスを紹介している場合、その該当ページへのリンクURLを掲載している。

流通BMSを今後導入しようとする製・配・販の各企業は、自社の導入に適した製品やサービスの選択に本システムを有効活用いただきたい。

なお、「流通BMS ロゴマーク使用許諾製品検索システム」へは下記のURLのほか、流通BMS協議会ホームページのTOPからアクセスできる。

◎流通BMS ロゴマーク使用許諾製品検索システム 入口ページ（流通BMS協議会）

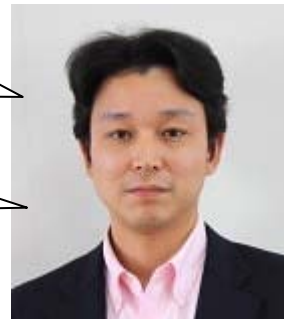
<http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/info/detail.html>

流通 BMS 普及セミナー ～2010 年 11 月 17 日開催 新潟～

魚栄商店の流通 BMS 導入事例

流通 BMS は、魚栄商店 1 社単独での効果ではなく、小売業はもちろんお取引先様まで含めた流通業全体の業務効率改善、経営体力強化に資するものです。

小売業の強い意志表示が流通 BMS を導入促進させると感じています。



本松 真一氏

魚栄商店の概要

- ・商号 株式会社魚栄商店
- ・本社所在地 新潟県新潟市南区鰯潟 423 番地 1
- ・設立 1961 年 7 月
- ・代表者 代表取締役社長 本松 真一 氏
- ・資本金 1 億 9, 800 万円
- ・店舗 スーパーマーケット 7 店舗（新潟市 5 店舗、燕市 2 店舗）
- ・従業員数 339 名（パート・アルバイト含む）

講演者：株式会社 魚栄商店 代表取締役社長 本松 真一氏

1. 沿革

1875 年、中蒲原郡白根町（のちの白根市、現新潟市南区）で渡邊栄吉が魚店を開業。自らの名に因んで屋号を魚栄（うおえい）とした。そのため、現在のキャッチフレーズも「お魚の美味しいウオエイ」となっている。1961 年に法人組織へ改組、現社名で設立された。

1973 年に「ウオエイ本町店」を開店（1992 年閉店）し、食品スーパー事業を本格化した。白根市をはじめ新潟市や燕市、新津市（現新潟市秋葉区）など新潟市近郊で店舗展開を進め、2006 年からは IT コンサルティング会社であるフューチャーアーキテクトの傘下に入る。以後、店舗改装（現有 7 店中 5 店改装済）、御用聞きサービス（なじらね便：午前にご注文を聞きに行き、午後配送するサービス）、自動発注システムの導入などの経営改革を進めている。

2. 経営改革とその支援のための流通 BMS

経営改革に着手したフューチャーアーキテクトは、まずは欠品防止と在庫の適正化を図るため、IT 面での改革として自動発注システムを導入することとし、フューチャーアーキテクトの全面支援の下、2008 年 12 月から同システムの運用を開始し、翌 2009 年 4 月より全店非生鮮（グロッサリー）部門の自動発注への移行が完了した。在庫のリアルタイム化に加え内部業務の効率化をさらに推進するため、次の IT 施策として受発注業務の合理化を目指し、流通 BMS に基づいた新 EDI システムを 2010 年度中に導入することを決定した。

1 月から開発着手し、2 月に内部テスト、3 月に導入事前テスト、4 月に魚栄商店での導入テストを終え、5～8 月の 4 ヶ月間をパイロットの取引先企業とのテスト期間とし、8 月の旧益商戦が明け、9 月 1 日から本格展開を開始した。10 月以降は、導入先の関係システムの刷新で 9 月 1 日に間に合わなかった企業も逐次切り替えを行っている。

3. 新 EDI（流通 BMS）導入に向けた作業項目

2010 年年初から流通 BMS に基づいた新 EDI システムの導入に向けた各種作業に着手した。仕様確認自体は肅々と進めたが、一番重要だったのは業務変更点の抽出・調整であった。取引先との手順に関わることなので、しっかり抽出して調整することに一番時間がかかった。合わせて体系的な変更点を調整し、方針、スケジュールを決定し、システムテスト、並行運用開始、本番運用開始と順次進めて行った。



No	作業項目	作業内容
①	新EDI、流通BMS仕様確認	流通BMSの理解を深め、目的と狙いの確認
②	業務変更点抽出、調整	新EDI適用する場合の業務変更点の洗い出し。魚栄と都度仕様確認含む
③	システム変更点抽出、調整	新EDI適用する場合のシステム変更点の洗い出し、工数、費用見積もり。
④	流通BMS対応パターン決定	上記②③から対応パターンの決定。対応パターンの詳細は後述。
⑥	システム準備	上記④の対応パターンに応じたシステム準備を行う。業務変更準備も含む。
⑦	新EDI接続テスト	上記⑥のシステム準備ができた段階で、新EDIの接続テスト実施。
⑨	並行運用	本番運用に向けて、システムおよび業務の確認のため、並行運用テストを行う。
⑪	本番運用	上記⑨のテスト結果を踏まえ、本番業務への切り替えを行う。



4. 流通 BMS の状況と導入効果

9月1日の納品分から新 EDI が稼働開始したが、11月1日時点、金額ベースで半分以上が導入済である。12月1日以降の導入予定を含めると、金額ベースで8割強、伝票の行数ベースで85.5%が流通 BMS に移行予定である。

状況	取引先数	取引額割合	伝票行数割合
導入済	20	51.7%	40.5%
12/1以降導入予定	13	84.8%	45.0%
対象外	16	6.6%	6.5%
導入せず	29	8.5%	8.0%
計	78	100.0%	100.0%

• 11/1で金額ベースは**半分以上が導入済**。
 • 今後の導入予定も含めると金額ベースで8割強、**行数ベースで85%が流通BMSに移行予定**。

実際に表れた主な導入効果は下表の4項目である。

	導入前	導入後	補足説明
納品情報	3日	0日	伝票が基幹システムに登録されるまでに、納品後3日程度掛かっていたのが、納品日当日に自動的にシステム登録。
伝票入力	約180時間/月	0時間	管理部で伝票入力していた手間が全く不要。
納品精度	約250行/月	0行	これまで検品時訂正が多く発生していた取引先が、新EDI導入により検品時の訂正がほぼゼロに。
自動発注精度	みなし在庫数で計算	リアル在庫で計算	納品データ取り込みが納品日当日となったことにより、自動発注計算の在庫数がほぼリアル値となり、自動発注精度の大幅な向上が実現。

5. 流通 BMS 導入時の気づき

■導入計画当初

- 1) 導入する取引先の多くは受動的であり、小売側がもっと強いイニシアチブを取っても良かったかも知れない。魚栄商店としては全面的に流通 BMS を導入するという強い決意を一貫して提示していたが、なかなかその決意が取引先に伝わりきらなかったことが反省材料としてあげられる。
- 2) また、導入費用（年額）が月間取引額の 20~25%以上となる取引先には断られる傾向が強かったが、導入（済および予定）の取引先数は粘り強く調整と交渉を続けた成果である。
- 3) 取引先毎の状況に合わせ十分な準備期間を設けたことから、取引先毎の逐次導入の計画となった。しかし、この無理ない導入計画が奏功してトラブルも殆ど発生せずに双方に取り良い結果に繋がったと自負している。

■導入準備作業

- 1) 連絡はメールではなく、むしろ電話の方が行き違いがなく良かった。
- 2) 取引先との仕様連絡、テスト日程の調整連絡を行う日がある程度決定すべきだった。
- 3) 取引先との窓口は、テストをする人と折衝する人を分けるべきだった。
- 4) システム面での詰め、業務面での詰めがあるが、後者が後回しになりがちなので、気を付ける必要があった。理由は、導入後に、取引先からのイレギュラーな業務に関する問い合わせが多かったからである。取引先の業務運用を行う担当者も含めて、運用の事前確認をする必要があった。
- 5) 情報共有ページ（情報共有の仕組み）の有用性を感じた。

■導入直前

- 1) 取引先の『大丈夫』という言葉の裏付けを取る事の重要性を知った。
- 2) 取引先の取引スタンスや、普段は言えない要望を知るチャンスであった。

6. 中堅・中小の小売業の皆様へ

長引く消費低迷や少子高齢化時代を迎え、魚栄商店を含む食品スーパー業をはじめとする中堅・中小の小売業は厳しい経営環境に置かれている。また、消費者のニーズも年々高度化・複雑化しつつあり、こうしたお客様のご要望にお応えするには最前線の売り場への注力が避けられない。そのため、業務支援系のバックヤードシステムについては、なるべく簡素化、自動化、IT 化を図るのが必須であると認識している。特に取引先とデータをやりとりする EDI システムのような、その行為自体は付加価値を生まない基盤システムに対しては、他社との共有化、共通化をし、徹底的なコストダウンを図るのが、経営力強化の最重要事項と思っている。加えて、**流通 BMS は、魚栄商店独自のもでもなく、我が国共通の流通 EDI 標準であり、魚栄商店 1 社単独での効果ではなく、小売業はもちろん取引先まで含めた流通業全体の業務効率改善、経営体力強化に資するものである。**

ご聴講の皆様には、ぜひ、この機会に流通 BMS の導入をご検討いただき、業界全体の効率化を推進するとともに、その余力を現場最前線に振り向け、お客様へのサービス向上での競争を繰り広げて頂きたいと考えている。

リテールテック JAPAN2011 流通 BMS ロゴ使用許諾 支援会員出展状況

2011年3月8日(火)～11日(金) 東京ビッグサイトで、リテールテック JAPAN 2011 が開催されました。流通 BMS のロゴ使用許諾を受け、出展された 16 グループ企業の出展状況を報告します。(報告対象企業：リテールテック JAPAN2011 出展社一覧に登録されたグループ企業)
(企業名50音順)

流通システム開発センター

流通 BMS 最前線レポート

～流通業の未来を左右する経営戦略を探る～



流通 BMS 導入効果、流通 BMS 協議会紹介



1) イシダ

【製品・サービス名】

・現場力

【連絡先】 ☎606-8392

京都府京都市左京区聖護院山王町 44

TEL:075(751)1686



2) インターコム

【製品・サービス名】

・Biware EDI Assist、・Biware JX クライアント

・Biware JX クライアント流通 EDI、・EOS らくらく受発注

【連絡先】 ☎110-8654

東京都台東区台東 1-3-5 TEL:03(3839)6240

<http://www.intercom.co.jp/>



3) ヴィンキュラム ジャパン

【製品・サービス名】

・CONTACT ST

【連絡先】 ☎530-0004

大阪府大阪市北区堂島浜 2-2-8

TEL:06(6348)2892



4) エヌアイシー・インフォトレード

【製品・サービス名】

- EDIPACK21

【連絡先】 〒135-0032

東京都江東区福住 2-3-10

TEL:03(5621)5550



5) NECグループ

【製品・サービス名】

- EDIAI Server

B2B EDI/EAI 統合ミドルウェア

【連絡先】 〒105-0014 東京都港区芝3丁目8-2

TEL:03(5440)1016 <http://www.nec-nis.co.jp/>



6) キヤノンITソリューションズ

【製品・サービス名】

- Collabolink series

【連絡先】 〒108-0073

東京都港区三田 3-11-28

TEL:03(5730)7242

<http://www.cannon-its.co.jp/edi/>



7) サイバーリンクス

【製品・サービス名】

- EDI-ASP

- @arms ERP システム～SaaS サービス～

【連絡先】 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16

TEL:03(5285)3711 <http://www.cyber-l.co.jp/>



8) サトー

【製品・サービス名】

- 大車輪(出荷検品システム)

【連絡先】 〒153-0064

東京都目黒区下目黒 1-7-1

[TEL:03\(6665\)0700](http://TEL:03(6665)0700)



9) セイコープレジジョン

【製品・サービス名】

- ROS³BMS Connector

【連絡先】 〒135-0032 東京都江東区福住 2-4-3

TEL:03(5620)6834



10) データ・アプリケーション

【製品・サービス名】

- ACMS E²X
- ACMS B2B
- ACMS Lite Neo

【連絡先】 〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町 1-3-8

TEL:03(5640)8544 <http://www.dal.co.jp/>



11) 東芝テック

【製品・サービス名】

- ES-1 流通BMS対応EDIシステム

【連絡先】 〒141-0022

東京都品川区東五反田 2-17-2

TEL:03(6422)7496 <http://www.tec.jp/>



12) 日立グループ

【製品・サービス名】

- REDISuite HITREDI/Manager
- REDISuite HITREDI/Server
- HITREDI for クライアント
- REDISuite 流通EDIサービス

【連絡先】 〒140-0013

東京都品川区南大井 6-26-2

TEL:03(5471)3287

<http://www.hitachi.co.jp/retail/>



13) 富士通中部システムズ

【製品・サービス名】

- Chain Flow

流通BMSパッケージ、流通BMS ASP サービス

【連絡先】 〒460-0003

名古屋市中区錦 2-9-29

TEL:050(3016)6122

<http://jp.fujitsu.com/fjcl/services/chainflow/>



14) 富士通エフ・アイ・ピー

【製品・サービス名】

- TradeFront/AE
- iTERAN/AE、• SpeedkitLite

【連絡先】 〒135-8686 東京都江東区青海 2-45
TEL:03(5531)1595 <http://jp.fujitsu.com/fip/>



15) ヘリオス

【製品・サービス名】

- Hi-PARKS ASP サービス
- Hi-ReView ASP サービス

【連絡先】 〒060-0004
北海道札幌市中央区北 4 条西 7 丁目 1 番地 8
TEL:011(232)7401



16) リテールサイエンス

【製品・サービス名】

- WinWin-EDI
- WinWin-EDI for Retail

【連絡先】 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 4-24
TEL:03(3477)2280
<http://www.rtsc.co.jp/>



リテールテック JAPAN 2011 において、流通システム開発センター共催の「流通システム標準化の最新動向」のセミナー（3月10日）が開催されました。

本セミナーで、「コメリにおける流通 BMS 導入事例」と題して、
コメリ流通グループ ビット・エイ取締役 システム統括部長
小林禎氏の講演がありました。

ご講演の骨子は次の通りです。

1. コメリのプロフィール
2. コメリにおける流通 BMS 導入事例
3. ビット・エイの流通 BMS 導入実績

ビット・エイのお問い合わせ先
流通 BMS ご相談専用メールアドレス
bms@bit.or.jp



下記に掲載している企業は、流通 BMS 協議会事務局が、正会員・支援会員の協力を得るなどして独自に把握し、それぞれの企業に社名開示の承認を得て公開しているものです。導入済/予定企業名を公開することによって、流通 BMS の導入促進に資することを目的としております。

(お願い) 下記の場合はお手数でも流通 BMS 協議会の事務局までお知らせください。

○掲載済企業が自社の内容を変更する場合(例: 予定→済に変更)

○未掲載企業が掲載を希望する場合

連絡先: ryutsu-bms@dsri.jp

なお、個別企業に関するお問い合わせにつきましては、守秘義務の関係で回答いたしかねます。

下表の社名公開企業数は、実際に流通 BMS を導入している、または導入を予定している企業数の一部です。今後も調査を継続致します。

小売業

業態	導入済	導入予定	小計
1. スーパー	48	14	62
2. 百貨店	3	6	9
3. ドラッグストア	1	3	4
4. ホームセンター	2	1	3
5. 生協事業連合	3		3
合計	57	24	81

卸売業・メーカー

業種	導入済	導入予定	小計
1. 食品・飲料卸	47		47
2. 菓子卸	11	5	16
3. 日用品化粧品卸	9	5	14
4. 医薬品卸	4	2	6
5. アパレル・靴 卸・メーカー	8	1	9
6. 食品メーカー	13	2	15
7. 家庭用品 卸・メーカー	3	2	5
8. 包装資材 卸・メーカー	4	5	9
合計	99	22	121

※前回(2011年1月31日)からの変更点は、以下の通りです。

新たに導入済として登録した企業: 4社

「小売業」 (株)鍛冶商店

「卸売業・メーカー」 カナカン(株)、三陽物産(株)、ヤマエ久野(株)

新たに導入予定として登録した企業: 4社

「小売業」 (株)イズミ、(株)マルエー、(協組)ハニー、(株)フジ

導入予定から導入済へ移行した企業: 2社

「小売業」 (株)イトーヨーカ堂、(同)西友

社名公開企業一覧 小売業

2011年3月1日 現在

1. スーパー

企業名	導入状況	都道府県	
イオン北海道(株)	済	北海道	
(株)アークス	予定		
イオンスーパーセンター(株)	済	岩手県	
マックスバリュ東北(株)	済	秋田県	
わしお(株)	済	福島県	
(株)結城ショッピングセンター	済	茨城県	
(株)ダイユー	済	栃木県	
(株)ヤオハン			
(株)ベイシア	済	群馬県	
(株)ヤオコー	予定	埼玉県	
イオンテール(株)	済	千葉県	
(株)おどや			
(株)尾張屋	予定	東京都	
(株)イトーヨーカ堂			
(株)エポック・スーパー・たじま			
(株)信濃屋食品			
(同)西友			
(株)セレクトジョン			
(株)ダイエー			
(株)トップ			
(株)マルエツ			
サミット(株)	予定		東京都
(株)東急ストア			
(株)小田原百貨店	済		神奈川県
(株)成城石井			
(株)たまや			
(株)やまか			
(株)ユータカラヤ			
百合ヶ丘産業(株)	済	新潟県	
(株)魚栄商店			
(株)鍛冶商店	済	石川県	
(株)マルエー	予定	福井県	
(株)ユース	済		
(協組)ハニー	予定	岐阜県	
(株)パロー	予定		
(株)カネスエ	済	愛知県	
(株)キシショッピングセンター			
ユニー(株)	予定	三重県	
(株)義津屋			
(株)ぎゅーとら	予定	滋賀県	
(株)平和堂	済		
イスミヤ(株)	済	大阪府	
(株)近商ストア			
(株)光洋	済	兵庫県	
(株)スーパーサンエー			
マックスバリュ西日本(株)	済	和歌山県	
(株)主婦の店 赤穂店	予定		
(株)オークワ	済	島根県	
(株)キヌヤ	済		
(株)みしまや	済	岡山県	
(株)ハローズ			
(株)マルイ	済	広島県	
Aコープ中国			
(株)ニチエー	予定	山口県	
(株)イズミ			
(株)丸久	済	愛媛県	
(株)フジ	予定		
(株)サンブラザ	予定	高知県	
イオン九州(株)	済	福岡県	
(株)西鉄ストア			
(株)サンライフ	済	大分県	
琉球ジャスコ(株)	済	沖縄県	

注1) スーパーには、総合スーパー、食品スーパー、スーパーセンターなどの業態が含まれます。

注2) 都道府県は、本社所在地を表します。

2. 百貨店

企業名	導入状況	都道府県
(株)高崎高島屋	予定	群馬県
(株)小田急百貨店	済	東京都
(株)丸井		
(株)岐阜高島屋	予定	岐阜県
(株)高島屋	済	大阪府
(株)米子高島屋	予定	鳥取県
(株)岡山高島屋	予定	岡山県
(株)井筒屋	予定	福岡県
(株)コレット井筒屋		

3. ドラッグストア

企業名	導入状況	都道府県
(株)薬王堂	予定	岩手県
(株)クスリのマルエ	予定	群馬県
(株)マツモトキヨシホールディングス	予定	千葉県
(株)ユタカファーマシー	済	岐阜県

4. ホームセンター

企業名	導入状況	都道府県
(株)カインズ	予定	群馬県
トステムビバ(株)	済	埼玉県
(株)コメリ	済	新潟県

5. 生協事業連合

企業名	導入状況	都道府県
東海コープ事業連合	済	愛知県
コープきんぎ事業連合	済	大阪府
コープ九州事業連合	済	福岡県

1. 食品・飲料卸

企業名	導入状況	都道府県
シユレン国分(株)		
日本アクセス北海道(株)	済	北海道
(株)北海道ヨーショク		
東北国分(株)	済	宮城県
(株)福島ヨーショク	済	福島県
関東国分(株)	済	栃木県
国分フードクリエイト(株)	済	千葉県
ユアサ・フナショク(株)		
(株)国分		
東京国分(株)		
(株)日本アクセス		
廣屋国分(株)	済	東京都
三井食品(株)		
明治屋商事(株)		
(株)菱食		
(株)ヨーショクカー		
(株)マルイチ産商	済	長野県
新潟国分(株)	済	新潟県
(株)新潟ヨーショク		
富山ヤクルト販売(株)	済	富山県
カナカン(株)	済	石川県
(株)北陸ヨーショク	済	
北陸国分(株)	済	福井県
ヤマキ(株)	済	静岡県
(株)昭和	済	愛知県
(株)トーカー		
(株)岐阜ヨーショク	済	岐阜県
三重国分(株)	済	三重県
(株)飯田		
伊藤忠食品(株)	済	大阪府
三陽物産(株)		
加藤産業(株)		
(株)ヒメカン	済	兵庫県
兵庫国分(株)		
山陰国分(株)	済	島根県
東中国国分(株)	済	岡山県
藤徳物産(株)		
サンリック国分(株)	済	広島県
西中国国分(株)	済	山口県
四国国分(株)	済	香川県
(株)四国ヨーショク		
旭食品(株)	済	高知県
ヤマエ久野(株)	済	福岡県
長崎国分(株)	済	長崎県
大分国分(株)	済	大分県
(株)大分ヨーショク		
南九州国分(株)	済	鹿児島県

5. アパレル・靴 卸・メーカー

企業名	導入状況	都道府県
(株)オンワード樺山		
(株)クロスロード	済	東京都
(株)三陽商会		
トリップ・インターナショナル・シヤルパン(株)		
イギン(株)	予定	
アツギ(株)	済	神奈川県
クロスプラス(株)	済	愛知県
(株)ワコール	済	京都府
グンゼ(株)	済	大阪府

6. 食品メーカー

企業名	導入状況	都道府県
銀河フーズ(株)	済	岩手県
滝沢ハム(株)	済	栃木県
JA高崎ハム(株)	済	群馬県
JA全農ミートフーズ(株)		
スターゼン(株)		
プリマハム(株)	済	東京都
森永乳業(株)		
(株)モンテール		
(株)ヤクルト本社		
山崎製パン(株)		
米久(株)	済	静岡県
日本ハム(株)	済	大阪府
築野食品工業(株)	予定	和歌山県
伊藤ハム(株)	済	兵庫県
(株)九食	予定	福岡県

2. 菓子卸

企業名	導入状況	都道府県
田代コンフェックス(株)	予定	新潟県
(株)関口	予定	栃木県
コンフェックス(株)	済	東京都
(株)サンエス		
(株)正直屋	済	愛知県
杉秀コンフェックス(株)		
(株)種清		
(株)相互	済	京都府
(株)エヌエス	済	大阪府
(株)山星屋		
横山(株)	予定	
播磨物産(株)	予定	兵庫県
(株)外林	済	広島県
ふたばコンフェックス(株)		
(株)大島屋	済	大分県
セイカ食品(株)	予定	鹿児島県

3. 日用品化粧品卸

企業名	導入状況	都道府県
(株)東流社	済	宮城県
(株)あらかた	済	千葉県
(株)富田屋商店		
花王カスタマーマーケティング(株)	済	
資生堂販売(株)		
中央物産(株)		
(株)井田両国堂	予定	東京都
(株)カネボウ化粧品		
(株)コーセー		
(株)東京堂		
(株)Paltac	済	大阪府
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)	予定	兵庫県
岡山四国共和(株)	済	岡山県
大分共和(株)	済	大分県

4. 医薬品卸

企業名	導入状況	都道府県
(株)大木	済	東京都
シーエス薬品(株)	済	愛知県
中北薬品(株)	予定	
丹平中田(株)	済	大阪府
(株)リードヘルスケア	予定	福岡県
(株)琉薬	済	沖縄県

7. 家庭用品 卸・メーカー

企業名	導入状況	都道府県
コラムジャパン(株)	済	東京都
(株)吉安		
貝印(株)	予定	大阪府
象印マホービン(株)	済	兵庫県
(株)ヒメブラ		

8. 包装資材 卸・メーカー

企業名	導入状況	都道府県
中央化学(株)	予定	埼玉県
(株)オカバ	済	東京都
オカモト(株)	予定	
北陸デラックス(株)	予定	福井県
(株)タカハシ包装センター	予定	島根県
岡山食品容器(株)	予定	岡山県
(株)エフビコ	済	広島県
(株)ブンシヤパン	済	山口県
日野出(株)	済	福岡県

注) 都道府県は、本社所在地を表します。

コーヒープレイク



～ 何故、今、商品マスタメッセージが提供されるの？ ～

流通 BMS 基本形メッセージ Ver.1.3 に加え、新たに、商品マスタメッセージ Ver.1.0 が提供されます。

Q：商品マスタメッセージ（EDI 方式）は、どんな背景から策定されたの？

流通業界では、EDI 取引の前提となる商品などのマスタ情報は、商品情報 DB などを経由する DB 方式（マスタデータ同期化）による共有、交換を目指しています。酒類・加工食品業界や日用品・化粧品業界では、すでに商品情報 DB による商品マスタ情報の共有化が始まっています。一方、アパレル業界では、商品のライフサイクルが短いこともあり商品情報 DB 方式の利用は難しく、商品案内と並行して商品情報の交換が行われています。

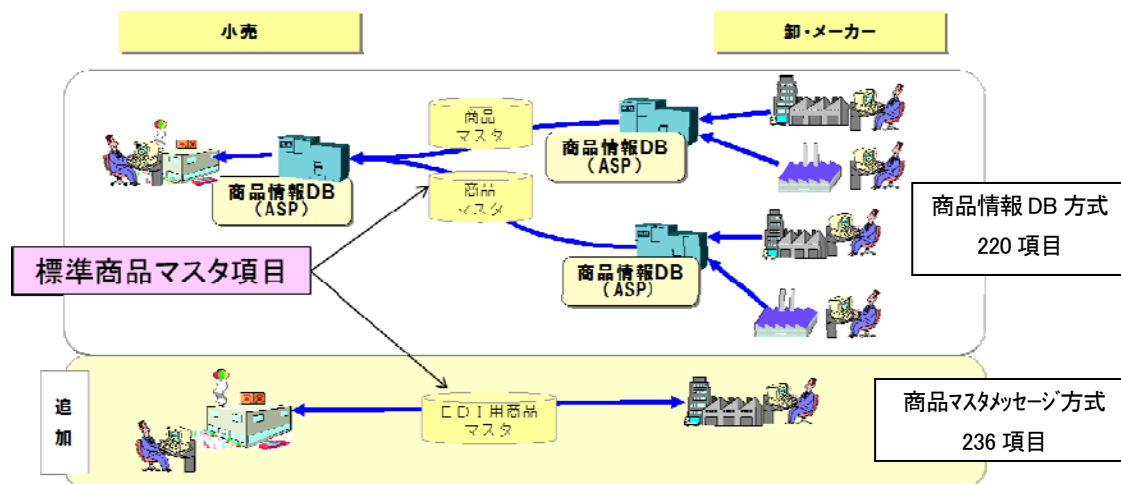
商品マスタ情報の交換に、商品マスタメッセージ（EDI 方式）を加えることで、商品マスタデータの伝達手段が増え、流通 BMS の導入企業が増え、業界全体の効率化やスピードアップに役立つことが期待されます。

Q：商品マスタメッセージ（EDI 方式）が有効なのは、どんな業界なの？

毎年、新しい商品が登録され、前年の商品が廃止されるようなライフサイクルの短いアパレル業界への適用が有効です。また、同一商品でも、キーとなる商品コードを相対で決めていているような業界（GTIN 以外のキーを使用する業界）への適用も有効です。

Q：商品マスタメッセージ（EDI 方式）には、どんな項目があるの？

従来の商品情報 DB 方式の標準商品マスタ 220 項目に、新たに 16 項目を追加して、236 項目としています。また、もとの 220 項目についての変更は行わないこととしています。業界ごとに使用するメッセージ項目を協議し、利用にあたり、実用的な項目に絞り込み、運用ガイドライン（商品マスタ編）に反映していきます。今回、アパレル分野を対象に提供開始されましたが、来年度、日用品・化粧品・一般大衆薬について、検討が予定されています。



詳細は、『流通 BMS 講座』で確認して下さいネ！

協議会会員一覧（会報No.11 発行後、支援会員 4 企業が新たに会員登録されました。）

1. 正会員入会状況（2011年3月10日現在。48団体）（団体名50音順）

オール日本スーパーマーケット協会	(社)全日本医薬品登録販売者協会	(社)日本スポーツ用品工業協会
(財)家電製品協会	全日本菓子協会	日本生活協同組合連合会
酒類加工食品企業間情報システム研究会(F研)	全日本履物団体協議会	日本石鹸洗剤工業会
情報志向型卸売業研究会	全日本婦人子供服工業組合連合会	(社)日本専門店協会
食肉流通標準化システム協議会((財)日本食肉流通センター)	(社)全日本文具協会	日本チェーンストア協会
(財)食品産業センター	(社)大日本水産会	日本チェーン・ラックストア協会
(財)食品流通構造改善促進機構	(社)日本アパレル産業協会	(社)日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会
(社)新日本スーパーマーケット協会	(社)日本医薬品卸業連合会 大衆薬卸協議会	日本歯磨工業会
(財)生活用品振興センター	(社)日本衛生材料工業連合会	日本ホーム・ソーセージ工業協同組合
全国医薬品小売商業組合連合会	日本OTC医薬品協会	日本百貨店協会
全国卸売酒販組合中央会	(社)日本加工食品卸協会	(社)日本フードサービス協会
全国菓子卸商業組合連合会	(社)日本玩具協会	日本文紙事務器卸団体連合会
全国化粧品日用品卸連合会	日本化粧品工業連合会	(社)日本ブランド・チェーン協会
全国青果卸売協同組合連合会	日本GCI推進協議会	(社)日本レコード協会
(社)全国中央市場水産卸協会	一般社団法人 日本出版インフラセンター	(公社)日本ロジスティクスシステム協会
(社)全国中央市場青果卸売協会	日本スーパーマーケット協会	協同組合 ハウネット

2. 支援会員入会状況（2011年3月10日現在。156社）（社名50音順）

新規支援会員：4社（エス・イー・エス(株)、(株)NTT データNCB、(株)トレンズ、(株)アルケミックス）

(株)アール	(株)NEC情報システムズ	(株)システムベース	日経メディアマーケティング(株)	(株)富士通中部システムズ
(株)アイシーエス	NECネクスソリューションズ(株)	(株)システムホ	(株)コッセコム	(株)富士通マーケティング
(株)アイティフォー	NECパーソナルプロダクツ(株)	シャブシステムプロダクト(株)	日本アイ・ビー・エム(株)	フューチャーアーキテクト(株)
(株)ITビョナリー	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	(株)ジャパンインフォテックス	日本アドバンスドシステムズソフトウェア(株)	(株)プラス
(株)アイネット	エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)	SOOP(株)	日本経済新聞社	(株)ブラネット
(株)アグリコミュニケーションズ	(株)NTTデータNCB	(株)スコブ	日本事務器(株)	(株)フリーポート
(株)あじよ	(株)NTTデータミス	住商情報システム(株)	日本情報通信(株)	(株)ヘリオス
(株)アスコット	大阪商中央卸売市場	住友セントシステム開発(株)	日本電気(株)	北陸コンピュータ・サービス(株)
(株)アットマーク	大阪商工会議所	セユーレジジョン(株)	日本ヒューレット・パッカド(株)	ホンダロコム(株)
(株)アルケミックス	(株)岡山情報処理センター	(株)セゾン情報システムズ	日本ペリヤイン(株)	ミツイ(株)
イーサポートリンク(株)	沖縄流通VAN(株)	創玄塾	日本ユニシス(株)	三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)
(株)イーネット	オフィスフナヤマ	ソラン(株)	日本ラッド(株)	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
eBASE(株)	オリバスシステムズ(株)	大興電子通信(株)	(株)ニュートラル	(株)南日本情報処理センター
イー・マネージ・コンサルティング協同組合	カストプラス(株)	(株)大洋システムテクノロジー	(株)ネクステージコンサルティング	(株)Minorityソリューションズ
(株)インダ	キャノITソリューションズ(株)	(株)外ラー	(株)野村総合研究所	(株)ミクス
伊藤忠テクノソリューションズ(株)	(株)クライム	TIS(株)	パナソニックシステムネットワークス(株)	メルシーネット(株)
(株)インタコム	(株)ケイコム	(株)DTS	パワーワークス(株)	ユーザックシステム(株)
(株)インテック	けいしんシステムリサーチ(株)	(株)TKC	(株)日立情報システムズ	(株)U-Think
(株)インテック	K-ビジネスサポート(株)	(株)データアプリケーション	(株)日立製作所	(株)ユーフット
(株)インフォマート	(株)コスモコンピュータシステムズ	テクトランシステム	日立ビジネスソリューション(株)	(株)ユニコス
(株)インフォメーションプロセッシングリサーチ	小林クワイク(株)	(株)テクノブレイ	(株)ヒット・エイ	ユニバーサルフード(株)
グインキュラム ジャパン(株)	(株)コムアソート	(株)デジタルコンセプト	(株)ひむか流通ネットワーク	(株)ライトウェーブコンサルティング
ウェブスペース(株)	(株)サイバーリンクス	(株)デジタルデザイン	(株)ファイネット	ライトシステムコンサルタント(株)
ウルシステムズ(株)	(株)さくらシーエス	鉄道情報システム(株)	(株)フィンテックジャパン	(株)ラック
(株)エイ・アイ・エス	(株)サトー	(株)寺岡システム	(株)福岡CSK	(株)リールサイエンス
(株)HBA	(株)サンテックス	(株)寺岡精工	福岡流通VAN(株)	(株)リネット
エス・イー・エス(株)	(株)CSK	東芝情報機器(株)	富士ゼロックス(株)	ロジ 共同促進(株)
(株)エス・イー・アイ	GMグローバルサイン(株)	東芝テック(株)	富士ソフト(株)	(株)ワイ・ディシー
(株)SJC	(株)ジェイ・エス・エス	トッパン・フォームズ(株)	富士通(株)	
(株)S-Parts	(株)JSOL	(株)トライ	富士通エフ・アイ・ビー(株)	
エス・ビー・システムズ(株)	JB7アドバンス・テクノロジー(株)	(株)トレンズ	(株)富士通システムソリューションズ	
エヌアイシー・インフォトレード(株)	(株)システム・トラスト	西日本オフィスメーション(株)	(株)富士通総研	

＜編集後記＞

3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地域の一日も早い復興をお祈り致しております。

本会報で、普及セミナーの開催結果や支援会員のリテールテックの状況を報告しました。最近のセミナーでの流通 BMS 関連の講演実績及び来年度総会の予定を、以下にご連絡します。



★スーパーマーケット・トレードショー2011（2/8～10、東京ビッグサイト、主催：NSAJ）

①「ユニーにおける業務改革と流通 BMS」講師:ユニー(株)執行役員システム物流部長 角田吉隆氏

②「CGCグループにおける情報化戦略と流通BMS」

講師:(株)シジシージャパンシステムチームチームリーダー 堀内秀起氏

詳しくは、日本経済新聞社の流通 BMS.com (<http://www.mj-bms.com/>) をご参照ください。

★リテールテック JAPAN 2011（3/8～11、東京ビッグサイト、主催：日本経済新聞社）

・「製配販 15 社による流通効率化の取り組みとその方向性」（3/8、経済産業省共催）では、次の講演やパネルディスカッションが行われました。

①「我が国流通業における政策課題」講師:経済産業省商務流通グループ流通政策課長 須藤治氏

②「日本型流通システムの改革の方向性」

講師:拓殖大学商学部教授/流通経済研究所理事 根本重之氏

③「製配販 15 社による流通効率化の取り組みとその方向性」パネルディスカッション

・「流通システム標準化の最新動向」のセミナー（3/10、流通システム開発センター共催）

「コメリにおける流通 BMS 導入事例」講師:コメリ流通グループ ビット・エイ取締役 小林禎氏

★JAPAN ドラッグストアショー（3/11～13、幕張メッセ、主催：JACDS）

①「標準 EDI(流通BMS)の導入・推進にあたり」

講師:日本チェーンドラッグストア協会 業界標準化推進委員会 委員長 江黒純一氏

②「流通 BMS の最新の導入状況と今後の展開について」

講師:流通 BMS 協議会 主任研究員 坂本真人

③「花王の流通 BMS 導入事例」

講師:花王カスタマーマーケティング(株) 経営企画部門グループリーダー 堀康人氏

④「小売業から見た標準 EDI 導入のメリット」

講師:(株)ユタカファーマシー 経営戦略グループ副リーダー 岡地勝美氏

★平成 23 年 4 月 26 日(火)15 時～ ホテルフロラシオン青山で平成 23 年度総会を開催します。

記念講演「統合システムと流通 BMS」

(株)セブン&アイ HLDGS 執行役員 システム企画部シニアオフィサー 金光孝文氏

『流通 BMS 導入の手引き』（流通 BMS の特徴、導入の効果、導入の手順を分かり易く解説）

を5月末完成を目指して作成しています。普及用冊子として、ご期待ください。

(作)

発行 : 2011年3月25日 発行

発行人: 流通システム標準普及推進協議会 (流通 BMS 協議会)

住所 : 〒107-0052

東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ 3 階 (財) 流通システム開発センター内

Tel : 03-5414-8505 Fax : 03-5414-8513

E-mail : ryutsu-bms@dsri.jp

URL : <http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/>